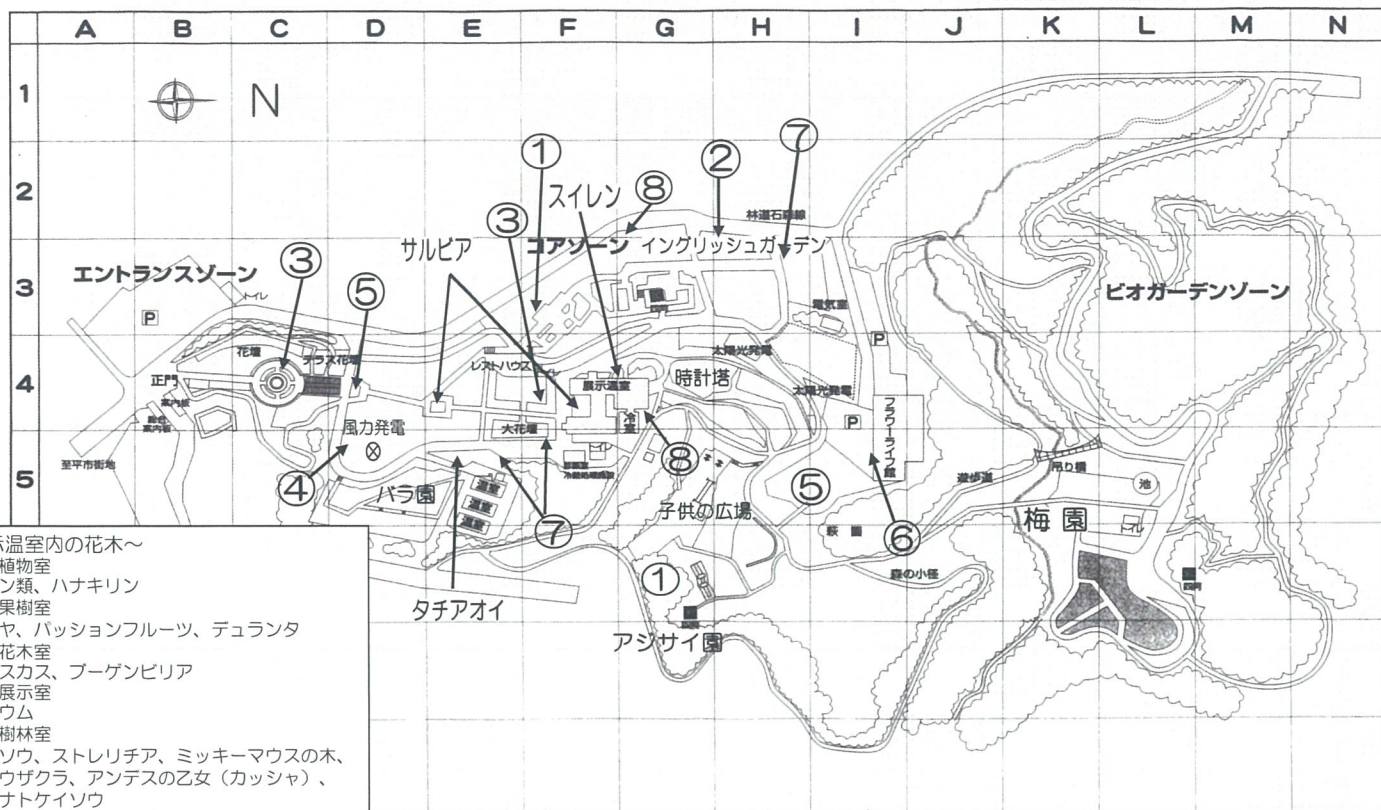


フラワーセンター【6月の花】

2021年度 6月25日更新

※園内の植物の盗難が相次いでいます 園内の植物は絶対にとらないでください。



～展示温室内の花木～
 ・多肉植物室
 サボテン類、ハナキリン
 ・熱帯果樹室
 パパイア、パッションフルーツ、デュランタ
 ・熱帯花木室
 ハイビスカス、ブーゲンビリア
 ・鉢物展示室
 ゼラニウム
 ・熱帯樹林室
 コエビソウ、ストレリチア、ミッキーマウスの木、
 ナンヨウザクラ、アンデスの乙女(カジャ)、
 ペニバトケイソウ
 ・冷室
 スクテラリア

①アジサイ

(アジサイ園・イングリッシュガーデン他)

ユキノシタ科 落葉低木 原産：日本

6～7月にピンク、白、紫、青などの花を咲かせます。一般に花と言われている部分は装飾花で、本来の花はその中心部で小さく目立ちません。花の色は、土壌が酸性なら青、アルカリ性なら赤の花が咲くと言われています。



②ラベンダー

(イングリッシュガーデン)

シソ科 常緑低木 原産：地中海沿岸

数あるハーブのなかでも最も人気の高いのがラベンダーです。鮮やかな紫色と心地よい香りが魅力のハーブです。木本性ですが、草花として扱われることが多く、花壇の植え込みやコンテナ栽培などで楽しまれています。



③ベゴニア (大花壇他)

シュウカイドウ科 多年草(一年草扱い) 原産：熱帯、亜熱帯地域

多年草中では多肉質な木質になる茎をもつ品種もあります。なかでも四季咲きベゴニアはベゴニア・センパフローレンスともいい、ブラジル原産のほぼ周年開花する品種を掛け合わせられた園芸品種群です。花色は白・ピンク・赤などがありハート形の花弁が愛らしく人気があります。



④コキア

(風力発電下)

ヒユ科 一年草 原産：アジア

夏になると茎に小花をびっしりと付けます。花には雄花と雌花があります。花びらはなく、淡緑色の萼があります。夏は爽やかなグリーン色の葉ですが、秋になると真っ赤に紅葉する姿が美しいです。



⑤ランタナ

(正門から大階段を上って正面の花壇)

クマツツラ科 常緑低木 原産：熱帯アメリカ・アフリカ

7～11月の高温期に小さな花を多数集めて傘状に咲かせます。花の色が橙から赤というように変化していくので、「七変化」の別名があります。開花期間が長く、丈夫なので、鉢物としてよく流通するほか、花壇などにも利用されます。



⑥ヒナゲシ(シャーレーポピー)

(フラワーライフ館南側花壇他)

ケシ科 一年草 原産：南ヨーロッパ

ヒナゲシのうち野生のものをコーンポピー、園芸種をシャーレーポピーと呼びます。基本色は「真っ赤」でピンクや白、薄紫などのものや2色のもの、八重咲きのものもあります。開花はアイスランドポピーよりも遅く5月の連休頃です。ヨーロッパでは初夏の花ですが、日本では梅雨入りで消えます。



⑦ヘメロカリス

(風力東側通路・イングリッシュガーデン内他)

ユリ科 多年草 原産：園芸品種(東南アジア)

日本原産のキスゲなどから欧米で改良されたとても丈夫な花です。形よくきれいに咲いた花は日本一ですが、花時が長く次々と咲かせてくれます。



⑧ヒペリカム

(イングリッシュガーデン・展示温室外北側)

オトギリソウ科 原産：中央アジア～地中海沿岸

一年草から多年草、低木まで、その形態は多岐に渡りますが、観賞用として栽培されるのは美しい花を咲かせる低木です。花期になると、伸びた枝先に、鮮やかな黄色の花を咲かせます。花は径3～7cm程度で5枚の花弁を持ち、多数ある雄しべが特徴的です。

